

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 6年 3月 15日

事業所名 児童発達支援事業所 ともし木

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	0	◆収納や仕切りなど使用し、活動しやすいよう工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	5	2	0	◆配置基準は満たしています。 ◆課題や職員の休み・曜日など、配置が少なく感じることもあるが、利用児・環境設定を工夫し、取り組んでいる。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	0	◆利用児に分かりやすいよう、パーテーションやマークなどを使用した空間づくりを行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	2	0	◆毎日の清掃や消毒・環境整備は、朝夕の清掃などを行い、清潔な環境になるよう気を付けています。	◆細かな個所の掃除・普段使用しない場所のスペースに関しては、清掃時や定期的に意識して清掃することを心がけます。また、教材や倉庫の整理・整頓も使用後や定期的に見直し・清掃を心がけます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	1	◆人事考課表を使用し、自己評価・業務評価などを行っています。	◆勤務時間など職員間で目標や振り返りを共有する時間がとりにくいため、業務や情報を共有しやすい(見やすい・分かりやすい)引継ぎノートなどの工夫を行います。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	◆年に1回実施。改善できることから取り組み、ご意見を頂いたことに関しては、真摯に受け止め、改善につながるよう検討していきます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	0	◆ホームページ上での公表とともに、事業所入り口に掲示し、閲覧して頂けるようにしています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	3		◆第三者による外部評価は未実施です。 ◆業務内容などについて、臨機応変に対応の工夫を行い、改善につながるようにしていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	◆全職員が、研修などの機会に1回以上参加できるようにしています。 ◆参加した職員から、研修についての内容などの共有を行っています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	0	◆利用開始時・年度初めのアセスメントや面談にて、利用児(保護者)の希望や課題を確認し、支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	0	◆利用開始時にKIDS・成育歴調査票を使用しています。 ◆利用開始時・年度初めに、個人調査票を使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	0	◆サービス利用計画を元に、適切な項目・必要な支援を行えるよう作成しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	0	◆支援計画を基に、会議(会議録)などを共有し支援に取り組んでいます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	0	◆活動内容をその日の担当者が組み立てています。	◆活動内容の展開などを、共有しやすくなるよう日誌や引継ぎノートを使用することや動画などを記録を利用できる工夫を検討していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	◆様々な経験につながるよう、季節の行事・課題を検討し、月案を立てています。 ◆同じプログラム内容でも、その日の利用児にあった取り組みを考え、同じ教材でも使用方法を工夫しています。 ◆必要な場面では、活動内容を繰り返し経験することもあります。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	0	◆集団活動の中でも、子どもの状況に応じた個別の支援が行えるよう、支援計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	0	◆活動前など、その都度行えています。 ◆ホワイトボードなどを使用し、内容・役割の共有や声掛けを行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	0	◆気になる場面にて、共有しています。 ◆支援中に気が付いたことや別のアプローチの方法を共有しています。	◆職員の勤務時間により、支援終了後に全員での打ち合わせが難しいため、支援中に行っていることや終了後に数名で話し合っています。振り返りノートなど共有できる方法の検討していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	◆毎日、日誌や個別の記録をつけています。改善点など、日誌や記録を振り返り、活動プログラムなどに繋げています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	◆相談員とも連携を図り、個別支援会議を通して判断しています。 ◆面談時に、利用児(保護者)の希望に沿って、見直しを検討しています。	
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	0	◆サービス担当者会議には、児童発達管理責任者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1		◆保護者からの希望に沿って行えています。	◆今後も、各関係機関や関係者との情報交換・連携に取り組んでいきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				◆該当者なし。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				◆該当者なし。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	0	◆保護者からの希望を受け、行えています。	◆今後も、各関係機関や関係者との情報交換・連携に取り組んでいきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	0	◆保護者からの希望を受け、行えています。	◆今後も、各関係機関や関係者との情報交換・連携に取り組んでいきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	0	◆研修参加など、行っています。 ◆参加した職員から、研修での内容や情報などの共有を行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	2	4	◆未実施です。	◆併用児が多いため、現状の交流は考えておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	2	2		◆職員体制や状況により出席を見送っているが、代表者が参加できるように検討していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1	0	◆送迎時や健康観察表を利用した、利用児の状態や課題での様子について伝えあえるようにしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	0	0	◆親子参加日や勉強会を通して、学習などの支援を取り組んでいます。	◆今後も、親子参加日・勉強会や教材製作など要望に応じ、家庭支援につながるような支援を行っていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	◆利用開始時に説明しています。また、利用者負担など変更がある際にも、説明させていただいています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	0	◆面談時に説明させていただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0	◆定期的な面談時や親子参加日、健康観察表を利用し、その都度対応しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1	0	◆保護者懇談会を年2回開催しています。 ◆親子参加日や行事・勉強会などで、保護者の交流機会があります。	◆併用利用児が多いため、父母の会などの設立は、現状考えていません。 ◆今後も、保護者懇談会、親子参加日や行事・勉強会などを行い、保護者が参加したいと思える内容になるよう検討したいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	◆送迎時や健康観察表を利用し、その都度迅速に対応できるようにしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	◆毎月『ともい木だより』を発行しています。 ◆年度始めや必要に応じて、号外やお知らせなど情報を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	0	◆注意して取り扱っています。 ◆個人情報の取り扱いについて、同意書を交わしています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	◆絵や写真カード・ホワイトボードなどを利用し、意思疎通のツールとしても利用。 ◆保護者とは、送迎時・健康観察表を利用し、様子などの情報交換を行っています。	◆今後も、言葉だけではなく視覚にて分かりやすく、丁寧に情報を伝えられるよう、工夫していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	0	◆避難訓練へ地域の方の参加を呼び掛け、今年は2名参加頂きました。 ◆散歩の際など、積極的に地域の方へ挨拶を行っています。 ◆地域の方へ回覧にて、AED設置・地域児童の登下校時に水分補給やトイレの貸出しなどのお知らせを配布し、AEDや子どもを守る店ステッカーを掲示しています。	◆今後も、避難訓練など、地域の方と交流を図っていききたいと思います。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	0	◆保護者の方には、災害時引き渡し訓練を年に1回行っています。また、消火訓練にも参加して頂きました。 ◆月に一度、様々な避難訓練を行い、ともい木だよりへ内容をお知らせしています。また、感染症マニュアルなど事務所や訓練室出入口に掲示し、嘔吐処理の研修なども取り組んでいます。	◆保護者の方へ、周知しておく内容の簡単なマニュアルが別途作成をしたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	◆毎月、様々な災害を想定した避難訓練などを行っています。また、非常食や水を備蓄しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	0	◆個人調査票にて確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	1	◆個人調査票・アセスメント時にて確認しています。 ◆アレルギーのあるお子さんについては、昼食・おやつなど、確認しながら注意して対応していますが、今年度は該当児がいませんでした。	◆今後も、アレルギーのあるお子さんに関しては、医師の指示書の提出など対応について確認を行い、注意して対応を行っていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	◆事例集作成まではいかないが、その都度ミーティングや情報の回覧など行い、共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	◆職員へ研修参加と研修報告にて共有しています。 ◆虐待防止委員会を通して、事例検討などを行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	0	◆重要事項説明書にて、身体拘束についての説明を行っています。 ◆身体拘束について、安全に配慮が必要な場合など、動きを止める直接的支援や別室にて対応することがあることを、面談時に説明させていただき支援計画への記載しています。 ◆身体拘束適正化委員会を通して、事例検討など行っています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。